

個人情報保護委員会（第 363 回）議事概要

- 1 日 時：令和 8 年 7 月 15 日（水）13:00～
- 2 場 所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：手塚委員長、清水委員、藤本委員、木田委員、藤村委員、
小笠原委員、穴戸委員、新保委員、藤井委員
佐脇事務局長、西中事務局次長、小川審議官、津村審議官、
戸梶総務課長、香月参事官、日置参事官、在津参事官、
片岡参事官、安藤参事官

4 議事の概要

（1）議題 1：令和 8 年度行政事業レビューについて

事務局から、資料に基づき報告を行った。

清水委員から「この度、初めて委員会で行政事業レビューの経過を御報告いただいたことにより、当委員会が目指すアウトカムとその達成状況、それに対する外部有識者の評価も委員会全体で共有することができた。また、外部有識者の所見に対し、丁寧に御検討いただき、適切な場合にはレビューシートに反映していただいたと思う。レビューチームの御努力に感謝申し上げます。

行政事業レビューの成果指標については、継続性も重要なが、適切な場合は追加、変更することもあると考えられることから、毎年度見直しが必要かどうかを検討していただきたいと思います。年次報告には、当委員会の所掌する事業の遂行状況が数値で示されているので、新たな指標の候補となり得るものも含まれていると思う。当委員会の設定するゴールに照らして、どのような指標が適切なのか、継続的に検討していただくようお願い申し上げます。

レビューでは、予算執行についても議論があったかと思う。効率的、効果的な予算執行のためには、例えば低落札率等により結果的に予算の執行率が低くなった場合、余剰分をほかの支出に回す以前に、見積りを正確に行って適正な予算を要求し、真に必要なほかの事業があれば最初から予算を付けることが原則かと思う。見積りをできるだけ正確に行うには、前年度の実績や市場価格を調査することが必要と考える。その点、契約に当たっては、より一層留意していただき、効率的、効果的な予算執行に努めていただきたい」旨の発言があった。

戸梶総務課長から「より良いものになるよう、引き続き毎年の見直しを含めて対応していきたいと思う。成果指標については、現行でもマイナーチェンジしている部分があるが、御指摘があったように、今回、活動方針、年次報告とリンクさせていくという形でこのレビューも位置付けたものであり、年次報告で出てくる項目、そのほか最新の動向を踏まえ、必要な指標、ある

いは、より望ましい指標が出てくれば、不断の見直しの中で検討したいと思う。

予算執行については、最近、物価高の状況であり、動きも激しいところである。漫然と前年同額の積算とすることではなく、現状の中での経済情勢、あるいは、参入する業者の過去の実績等を踏まえて、毎年、精査しながら必要な積算を行っていくということは努力したい」旨の発言があった。

なお、本議題の資料、議事録及び議事概要については、後日公表することとなった。

- (2) 議題2：個人情報保護に関する法律施行規則第八条第三項第一号及び第二号並びに第四十四条第三項並びに行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第二十九条の四第一項及び第二項に基づく特定個人情報の漏えい等に関する報告等に関する規則第三条第三項に規定する個人情報保護委員会が別に定める場合及びその方法を定める件の一部を改正する告示（案）の意見募集について
事務局から、資料に基づき説明を行った。
原案のとおり決定することとなった。

- (3) 議題3：「金融分野における個人情報保護に関するガイドライン」の一部改正（案）に対する意見募集の結果等について
事務局から、資料に基づき説明を行った。
原案のとおり決定することとなった。
なお、本議題の資料、議事録及び議事概要については、後日公表することとなった。

- (4) 議題4：国際協力関係について
事務局から、資料に基づき報告を行った。
なお、本議題の資料、議事録及び議事概要については、後日公表することとなった。

以上